



## 第2号議案 令和3年度活動報告（総会資料1、2、3）

令和3年度の主な活動（3月以降は予定）について以下のとおり報告します。この活動報告について表決をお願いします。

### （1）活動スケジュール

種別は以下を表す 運：運営委員会関連 イ：イベント関連	人：人材育成WG関連 他：他機関との連携関連	新：新規気象ビジネス創出WG関連 ア：気象データアナリスト関連
-----------------------------------	---------------------------	------------------------------------

開催年月日	種別	内容
2021年4月16日	人	人材育成WGオープンセミナー
2021年5月13日～14日	人	アメダス気象データ分析チャレンジ！（Python版）
2021年5月21日	人	第44回人材育成WG会合
2021年6月18日	人	第45回人材育成WG会合
2021年6月25日	他新	第7回猛暑対策展
2021年7月5日	運	第18回運営委員会
2021年7月16日	人	第46回人材育成WG会合
2021年7月21日	イ人新	気象データのビジネス活用セミナー（令和3年度第1回）
2021年8月20日	人	第47回人材育成WG会合
2021年8月31日	新	第19回新規気象ビジネス創出WG会合
2021年9月6日	人	アメダス気象データ分析チャレンジ！入門
2021年9月17日	人	第48回人材育成WG会合
2021年9月24日	人	これまでの活動の成果をWXBC成果物として一般公開
2021年10月5日	新	第20回新規気象ビジネス創出WG会合
2021年10月15日	人	第49回人材育成WG会合
2021年10月20～22日	他新	気象災害・リスク対策サミット
2021年11月9日	運	第19回運営委員会
2021年11月11日	イ新	気象データのビジネス活用セミナー（令和3年度第2回）
2021年11月19日	人	第50回人材育成WG会合
2021年12月8～10日	他	ウェザーテック 2021
2021年12月10日	人	アンサンブル予報チャレンジ！（基礎編）
2021年12月17日	人	第51回人材育成WG会合
2022年1月19日	ア	第1回カリキュラムガイドライン検討委員会
2022年1月21日	人	第52回人材育成WG会合
2022年2月8日～10日	イ	第6回気象ビジネスフォーラム
2022年2月14日	ア	第2回カリキュラムガイドライン検討委員会
2022年2月14日	新	第21回新規気象ビジネス創出WG会合
2022年2月18日	人	第53回人材育成WG
2022年2月28日	運	第20回運営委員会

2022年 3月18日	人	第54回人材育成WG
-------------	---	------------

### (2) ワーキンググループ

人材育成 WG については総会資料 1「令和 3 年度の活動報告（人材育成 WG）」、新規気象ビジネス創出 WG については総会資料 2「令和 3 年度の活動報告（新規気象ビジネス創出 WG）」をご参照ください。

### (3) WXBC で主催したイベント

以下 7 件のイベントを主催しました。

#### 人材育成 WG オープンセミナー

日時	令和 3 年 4 月 16 日 14 時 00 分～17 時 10 分
場所	オンライン
定員・動員	参加者数 80 名
内容	人材育成 WG のグループ別勉強会の中間報告会
参考 URL	<a href="https://www.wxbc.jp/mypage/jinwg/210416_jinwg/">https://www.wxbc.jp/mypage/jinwg/210416_jinwg/</a> （会員限定）

#### アメダス気象データ分析チャレンジ！（Python 版）

日時	1 日目：令和 3 年 5 月 13 日 13 時 00 分～17 時 00 分 2 日目：令和 3 年 5 月 14 日 13 時 00 分～17 時 00 分
場所	オンライン
定員・動員	参加者数 1 日目 85 名、2 日目 83 名 会員限定
共催等	岐阜大学
内容	オープンデータである気象データや電力消費データを活用して、Python によるデータ分析と機械学習の基礎と手順を学ぶハンズオンセミナーを実施 講師：岐阜大学工学部附属応用気象研究センター センター長・准教授 吉野 純
参考 URL	<a href="https://www.wxbc.jp/mypage/challenge/challenge_2021051314/">https://www.wxbc.jp/mypage/challenge/challenge_2021051314/</a>

#### 令和 3 年度第 1 回気象データのビジネス活用セミナー

日時	令和 3 年 7 月 21 日 13 時 30 分～16 時 30 分
場所	オンライン
定員・動員	参加者数 545 名
共催	気象庁
内容	以下の講演を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>「気象データ活用によるデータ分析の流れーデータや分析手法の選び方ー」 吉野 純 岐阜大学工学部附属応用気象研究センター センター長・准教授</li> <li>「気象データアナリスト育成講座認定制度について」（気象庁）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>「小売業のDXをAI×気象データで実現「AI需要予測自動発注」 渡邊 卓 日本ユニシス株式会社 流通第一事業部 担当マネージャー</li> <li>「メッシュ気象データを用いた温州みかん糖度予測」 森岡 涼子 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 基盤技術研究本部 農業情報研究センター 上級研究員</li> </ul>
参考 URL	<a href="https://www.wxbc.jp/event/seminar2021-01/">https://www.wxbc.jp/event/seminar2021-01/</a>

### 令和3年度第2回気象データのビジネス活用セミナー

日時	令和3年11月11日 13時30分～16時30分
場所	オンライン
定員・動員	参加者数 522名
共催	気象庁
内容	<p>以下5名から気象ビジネスの事例についての講演を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「宇宙ビッグデータ及び気象データを活用したビジネス開発の現状」 講師：百束 泰俊 株式会社天地人 取締役・COO</li> <li>「気象衛星ひまわり～概要とデータの入手・利用方法～」 講師：坂下 卓也 気象庁 情報基盤部 気象衛星課 データ利用計画班長</li> <li>「操業情報のデジタル化推進による日本漁業の活性化」 講師：水上 陽介 オーシャンソリューションテクノロジー株式会社 代表取締役社長</li> <li>「漁業と航路選定における日本沿岸海況監視予測システムの利用」 講師：萩原 秀樹 株式会社海洋総合研究所 取締役社長</li> <li>「気象庁が提供する海洋気象データのご紹介～日本沿岸海況監視予測システム～」 講師：小司 晶子 気象庁 大気海洋部 環境・海洋気象課 海洋気象情報室 主任技術専門官</li> </ul>
参考 URL	<a href="https://www.wxbc.jp/event/seminar2021-02/">https://www.wxbc.jp/event/seminar2021-02/</a>

## アメダス気象データ分析チャレンジ！入門

日時	令和3年9月6日 14時00分～17時00分
場所	オンライン
定員・動員	参加者数 69名
共催	岐阜大学工学部附属応用気象研究センター
内容	気象データと電力データをかけ合わせたデータ分析を例に、Microsoft Excel によりハンズオン形式で学ぶ 講師：岐阜大学工学部附属応用気象研究センター センター長・准教授 吉野 純
参考 URL	<a href="https://www.wxbc.jp/mypage/challenge/challenge_20210906/">https://www.wxbc.jp/mypage/challenge/challenge_20210906/</a>

## アンサンブル予報分析チャレンジ！（基礎編）

日時	令和3年12月10日 13時30分～17時00分
場所	オンライン
定員・動員	参加者数 57名 会員限定
内容	Python を使用して気象庁のアンサンブル予報データを処理して活用する方法を学ぶハンズオンセミナーを実施 ・講師 農業・食品産業技術総合研究機構 大野宏之
参考 URL	<a href="https://www.wxbc.jp/mypage/challenge/challenge_20211210/">https://www.wxbc.jp/mypage/challenge/challenge_20211210/</a>

## 第6回気象ビジネスフォーラム

日時	令和3年2月8日～10日 13時00分～16時40分
場所	オンライン
定員・動員	定員 1000名、申込約 600名、参加者数 550名
内容	以下3者から講演を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>木本 昌秀 国立環境研究所 理事長</li> <li>須永 逸人 日本経済団体連合会 環境エネルギー本部 上席主幹</li> <li>渡邊 裕美子 (株) L000P 電力事業本部 エネルギー戦略部 部長</li> </ul> <p>以下4名により気象データとグリーン社会をテーマとしたトークセッションを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>越塚登 東京大学大学院情報学環 教授</li> <li>村江純忠 戸田建設(株) 価値創造推進室・技術開発センター 環境創造ユニットマネージャー</li> <li>浦嶋裕子 三井住友海上火災保険(株) 経営企画部 気候変動対策チーム、総務部 地球環境・社会貢献室 課長</li> <li>安田珠幾 気象庁大気海洋部気候情報課長</li> </ul> <p>会員企業によるオンラインブース展示を実施</p>
参考 URL	<a href="https://www.wxbc.jp/event/forum2022/">https://www.wxbc.jp/event/forum2022/</a>

#### (4) 気象データアナリストの育成

気象データと企業データとを併せて分析し、データ利活用に関する提言や助言を行うことができる「気象データアナリスト」の育成や確保の仕組みについて、WXBCで検討を行い、令和3年2月2日に気象庁の「気象データアナリスト育成講座」認定制度として開始しました。<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shinsei/wda/index.html>

この講座認定に関するカリキュラムガイドラインについて、策定後1年経ったことから、カリキュラムガイドライン検討委員会において改訂の可否を検討しました。その結果、現行のカリキュラムガイドラインに大きな修正は必要ないものの、次のような改正が必要との結論になり、第20回運営委員会（令和4年2月28日開催）で承認されました。

- ・扱う気象データについて、国内に限らないことを明確化
- ・演習教材等で、気象データを積極的に活用することを推奨
- ・気象業界用語（GRIB2等）に補足説明を追加

修正案については総会資料3をご参照ください。

#### カリキュラムガイドライン検討委員会

吉野純	岐阜大学工学部附属応用気象研究センター センター長・准教授	委員長、気象分野
宮本佳明	慶應義塾大学環境情報学部 准教授	気象分野
大野宏之	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 基盤技術研究本部 農業情報研究センター 副センター長	気象分野
根本学	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 寒地畑作研究領域 上級研究員	気象分野
安部大介	ウェザーニューズ 執行役員 サービス統括主責任者	民間気象事業者
平松信昭	日本気象協会 社会・防災事業部 兼 経営企画室 調査役	民間気象事業者
足海義雄	ハレックス 常務取締役 ビジネスソリューション事業部長	民間気象事業者
中林紀彦	一般社団法人データサイエンティスト協会理事 筑波大学大学院客員准教授 ヤマトホールディングズ執行役員	データサイエンス分野
平田英隆	立正大学データサイエンス学部 講師	データサイエンス分野

## (5) 他機関との連携

以下3件のイベントを他機関と連携を行いました。

### 猛暑対策展

主催	(一社) 日本能率協会
日時	令和3年6月23日～25日開催
場所	東京ビッグサイト青海展示棟
協力内容	WXBC 会員2企業と、環境省および気象庁がセミナー講演を実施 ・アイフォーコム : 作業者みまもりサービス事例の紹介 ・環境エネルギー総合研究所 : AI・IoTによる熱中症支援と快適低炭素化生活 ・環境省および気象庁 : 気候変動や、熱中症警戒アラート・暑さ指数による熱中症対策

### 気象災害・リスク対策サミット

主催	(株) 東京ビッグサイト
日時	令和3年10月20日～22日
場所	東京ビッグサイト青海展示棟
協力内容	WXBC 会員3企業と気象庁がセミナー講演を実施 10月20日(水) 10時30分～11時15分 ・気象庁 : 激甚化する災害と防災気象情報 10月21日(木) 13時00分～14時30分 ・会員3社合同 : 産業における気象データを用いた気象リスク対策について (株) ウェザーニューズ、佐川急便(株)、(株)Spectee
補足	危機管理産業展 併催企画

### ウェザーテック 2021

主催	(株) 日本経済新聞社、(株)日経 BP
日時	リアル開催: 令和3年12月8日～10日 オンライン開催: 令和3年11月25日～12月17日
場所	リアル開催: 東京ビッグサイト(国際展示場) オンライン開催: NIKKEI NEON
協力内容	会員への周知・広報を実施 ブース出展の依頼があり、オンライン出展及びリアル出展を事務局から行った。
補足	気候変動・災害対策 Biz2021 併催企画

(6) 名義使用

○協賛名義

主催	(一社) 日本太陽エネルギー学会
イベント名	太陽光発電部会 第31回セミナー「太陽光発電出力予測と需要」
日時	令和3年9月27日

主催	トロンフォーラム
イベント名	2021 TRON Symposium (TRONSHOW)
日時	令和3年12月8日～10日

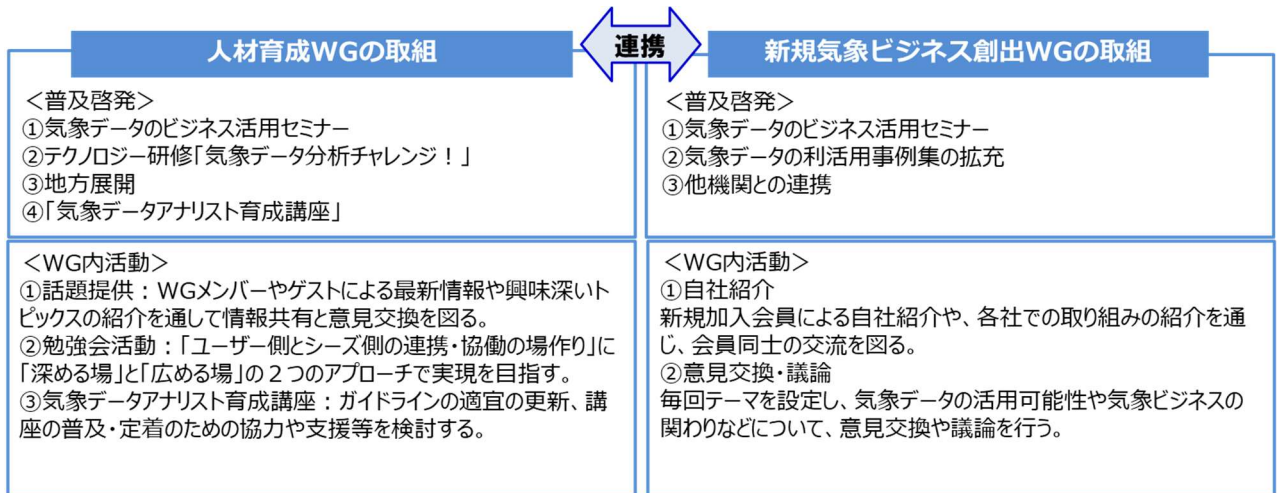
○後援名義

主催	国立研究開発法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC)
イベント名	DIAS コミュニティフォーラム 2022
日時	令和4年3月9日



### 第3号議案 令和4年度活動計画 (総会資料4、5)

令和4年度の活動計画について、表決をお願いします。  
ワーキンググループの活動計画の詳細については、総会資料5をご参照ください。



令和4年度の運営体制は、今年度と同様、総会、運営委員会、人材育成WG、新規気象ビジネス創出WG、広報担当の体制を継続します。

現広報担当（ヤファー 田中委員）には引き続きご担当いただきます。

来年度のワーキンググループの座長、副座長は以下のとおりです。人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGともに変更はありません。

#### 人材育成WG

- 座長： 田原 春美 (先端IT活用推進コミュニティ 代表)
- 副座長： 岩田 修 (日本気象予報士会 副会長)
- 越智 正昭 (デジタル参謀事務所)

#### 新規気象ビジネス創出WG

- 座長： 村上 文洋 ((株)三菱総合研究所 主席研究員)
- 副座長： 立仙 和巳 ((株)日立製作所 Lumada CoE  
Scale by Digital 推進部 担当部長)